

オアシススケッチ

● 手作りの楽しさを実感



水を搾り出す園児

中部保育園の年長児が2月9日、「紙すき」体験でポストカードを作りました。

カード作りを通して子どもたちに手作りの良さを実感してもらおうと、町商工会青年部が地域貢献事業の一環として毎年実施しています。今年は南部保育園でも行われました。

青年部メンバーが優しく手伝い、園児は紙すきを楽しみました。出来上がったカードを見て、どの子も笑顔になっていました。作ったカードは、感謝の言葉を書いて卒園式で保護者に手渡されます。

● 保育園で豆まき



元気に豆をまく園児たち

節分の2月3日、東部保育園で全園児が豆まきをしました。

お腹にいる悪い鬼を退治する話の絵本を保育士が読んだ後、鬼が登場。鬼の姿を見て泣き出してしまう園児もいました。

それでも頑張って、自分たちの中にいる「退治したい鬼」を書いた紙を、鬼の体に張りにいきました。先生の合図で、元気いっぱい大きな声で「鬼は外」と鬼に向かって豆をまきました。

この日は、町内の各保育園、幼稚園でも豆まきが行われました。

● あぐびっぴでお楽しみ人形劇



人形劇を楽しむ親子

読み聞かせグループ「ぶんぶん」によるお楽しみ人形劇が2月14日、子育て支援センター“あぐびっぴ”でありました。集まったたくさんの親子は、人形劇を鑑賞したり、一緒に童謡を歌ったりしました。屋外では冷たい雨が降っていましたが、室内は心温まる雰囲気楽しい時間が流れていました。

「ぶんぶん」は、図書館で土曜日、日曜日などに絵本の読み聞かせを行い、7月にはお楽しみ会を開催するなどの活動をしています。

● 尾張地域の歴史を学ぶ



講師の話に集中して聴く受講者

「尾張の村・地域の暮らし」をテーマとした歴史講座が中央公民館でありました。1月20日～2月10日の毎週金曜日に全4回で行われ、日本福祉大学名誉教授の福岡猛志さんなどが講師を務めました。68人が参加し、この地域の歴史を学びました。

1月27日は、名古屋短期大学名誉教授の上村喜久子さんを講師に迎えました。中世の郷と村の関係をはじめとした講話があり、受講者は、講師の説明を熱心に聴き、配られた資料にメモを書き加えていました。